



荻の里

黒部市立荻生小学校
学校だより 9号
平成28年9月30日

目指す子供の姿 **やさしく** **かしこく** **たくましく**

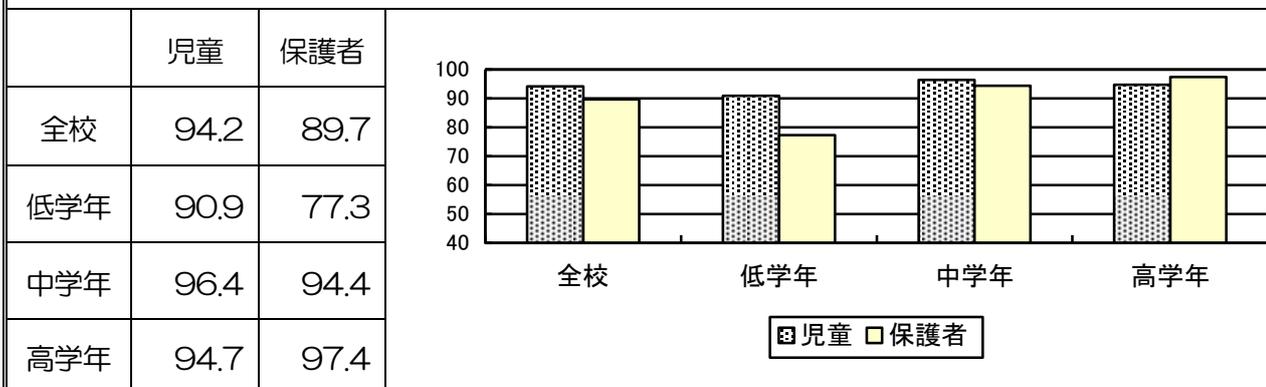
特集号

第1回保護者アンケート（1学期実施）の結果をお知らせします

学校だより第8号でもお知らせした児童の自己評価と保護者の評価を並べて表示します。項目や学年によっては児童と保護者の評価に大きな差が見られるものもありました。

アクションプラン1【徳】やさしく

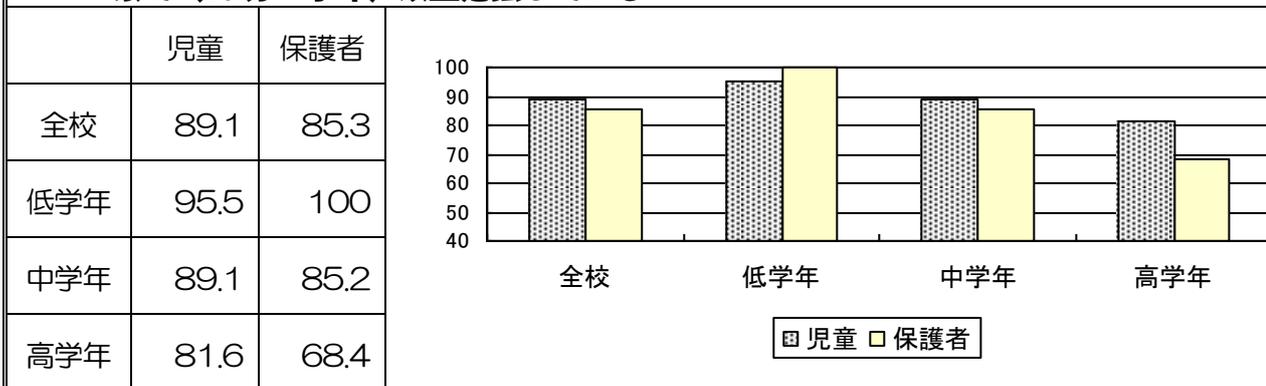
あいさつしている



児童の自己評価と比べるとやや低いものの、全校では約9割の保護者が「あいさつしている」と回答されました。保護者評価から、低、中、高学年と学年が上がるにつれて、さわやかなあいさつのできる児童が増えている様子が伺えます。自由記述では、「家庭でも、地区の方にもあいさつができています」という意見もある反面、「自分から進んであいさつできていない」という意見もありました。「顔を見て、大きな声で、自分から」など、あいさつのレベルアップを目指したいと思います。

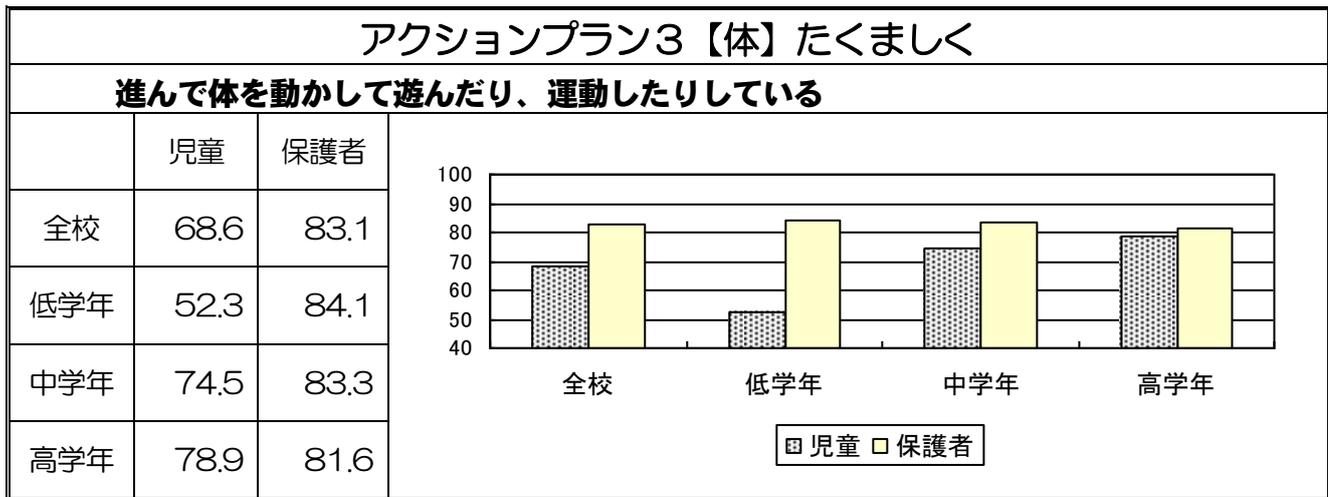
アクションプラン2【知】かしこく

家で（10分×学年）以上勉強している



全校では、約85%の保護者が目標を達成していると回答されました。低学年、中学年では児童の自己評価と概ね似た結果でしたが、高学年では、評価に10%以上の差が見られました。「やっているつもり」の子供たちと「やっていない」と感じている保護者に意識の違いがある

ようです。「自学ノート」は定着してきているものの、「何をすればよいか分からない」「内容がワンパターン」という児童もいるようです。まずは、目標時間、机に向かう習慣付けができるよう、さらに、内容面での工夫もできるよう励ましていきたいと思えます。



8割以上の保護者が、「進んで体を動かして遊んだり、運動したりしている」と回答され、どの学年も、児童よりも保護者の評価が高い結果となりました。「わんぱくタイム」や「みんなでチャレンジ3015」が体を動かすよい契機となっているというご意見も多く、今後も継続していきたいと思えます。学年末には、全校児童が「みんなでチャレンジ3015」を達成できるよう運動の機会を設定したり、呼びかけたりしていきます。

保護者アンケート 自由記述まとめ

※ 紙面の都合上、皆様のご意見の意図を変えないよう表現を変更したり、重複したものをまとめたりしています。ご了承ください。罫 罫 罫と学年を記しています。同年代のお子さんをおもちの保護者の意見も参考にいただければと思えます。

【○…よい面・成果、▲…課題、★…対策、希望】



1 やさしく（温かい人間関係づくり・家族の触れ合い）

(1) 温かい人間関係づくり

友達との関わり方・人間関係について

- 友達とよく話し、助け合っている様子をよく見かける。先生や友達と上手に関わっているようで安心している。 低
- 人との関わりが増え、以前よりコミュニケーション能力が高まった。 低
- 人に優しくできている。 中
- 同級生とよく遊ぶようになり、誰とでも仲よくしているようなので安心している。 中
- 同級生、下級生を思いやっている。互いを理解し合うことがとてもよくできている。 高
- 友達の良い面を言うことはなく、楽しかったことを話す姿から、よい人間関係が築けていると思う。 高
- ▲学校でも友達に優しくできるようになってほしい。 中
- ▲もう少し、誰とでも進んで話ができるとよい。 中
- ▲スポ少で競技には夢中になっているが友達とあまり話をしないので心配である。競技を通していろいろな人と仲よくしてほしい。 中
- ▲高学年になると女子同士の関わりが難しくなり、ぶつかることもあると思う。 高
- ★温かい心で接する気持ちを大切にしてほしい。 中
- ★嫌なことをされても自分からはしないよう言い聞かせているが、我慢できないこともあるようである。常に友達や家族の大切さを伝えている。 中

縦割り活動について

- 給食の縦割りグループで下の学年の面倒を見たり、上学年の児童が量を調節してくれたりするのを見て、自分も同じようにしようという気持ちになっている。縦割り教育のよさを感じる。[低]
- 1年教室掃除の手助けやランチルームでの給食など、上下学年とのつながりがあり、世話をしたり、優しくしてもらったりする機会があつてよい。[低]
- 上学年との関わりが学校内であることがよい刺激になっている。[低]
- 休み時間にも上級生と交流しているのがよい。[低]
- 下の学年との関わりが多く、思いやる気持ちが育ってきている。[中]
- 下の学年の面倒を見ている。近所の下級生にも優しく接し、手本となるよう普段から話している。[中]
- 全学年での交流があり、仲がよい。[中]
- 学校以外でも他学年との交流が増えた。上級生にかわいがってもらえる反面、よくないことを覚えたり、聞きしったりしないか心配。[中]
- 縦割り給食はとてもよい。上級生は下級生と進んで触れ合い、手助けしてほしい。[高]
- ★クラスだけでなく、異学年との交流もたくさん経験できるとよい。[中]
- ★縦割り活動を継続し、思いやりや敬う気持ちを育ててほしい。[高]
- ▲下級生に何か言われたことをずっと気にして文句を言っている。[高]



2015@L.D.H

あいさつについて

- あいさつ運動をすることで近所の人や家族にもあいさつできるようになった。[低] [中]
- あいさつはとても上手にできている。[低] [高]
- 登下校中、畑で作業をしている人、地域の方にもあいさつをするようになった。[低] [中]
- ▲あいさつはしているが顔を見ていないので、相手の顔を見て、正面を向いてあいさつしてほしい。[低]
- ▲はずかしいのかあいさつするときの声が小さい。[低]
- ▲相手からあいさつをされると返すが、自分から進んであいさつをする姿を見ない。[中]
- ▲あいさつはしているが自分の気分が乗らないときはしなかったり、適当にしたりしているので、機嫌が悪くてもしっかりあいさつをしてほしい。あいさつを適当にしているときは、玄関のくつも並んでないことがある。[中]
- ▲家の中で近所の方々にも進んであいさつができるようになってほしい。[低] [中]

言葉遣いについて

- ▲わが子を含め、言葉遣いの荒い子供がいる。以前よりも言葉遣いが悪くなっているようだ。[低] [中]
- ▲先生に対する言葉遣いが気になる。[高]
- ▲言葉を大切に使うしてほしい。[高]

その他

- 友達のよいところを見つける取組（ありがとう、すごいねカードなど）がよい。友達や家族のよいところを見つけたり、がんばっているところをほめたりするようになった。人のよいところを見つけることは簡単そうで難しいこと。「ありがとう」という気持ちを大切にしていってほしい。[高]
- 学校での様子を面談等で教えてもらえて助かっている。[高]
- ▲友達関係で悩みがあるようにも感じるが、家庭ではあまり詳しく聞き出すようなことはしていない。[高]

あいさつ運動は、本校の伝統「4A運動」の要です。今年度も児童会計画委員会が中心となって、毎朝、あいさつ運動を実施しているほか、毎月1回の「あいさつチャレンジウィーク」には、あいさつマスター（あいさつがしっかりできた人）にスマイルカードを手渡す取組も行っています。

「あいさつ」、「ありがとう」の言葉、「はい」という返事は、人と人が気持ちよく関わるために欠かせないキーワードです。どれも簡単な言葉ですが、自然と口から出るようになるためには時間がかかります。言葉遣いについても同様です。まず大人が正しく美しい言葉遣いをし、気持ちのよいあいさつを交わすことで、子供たちの手本となるように心がけていきたいと思ひます。

ランチルームでの縦割り活動を中心として、休み時間や下校後にも異学年間の交流があり、温かい人間関係が育っているという意見も多く、大変、うれしく思っています。今後も上級生が模範を示して下級生によい影響を与え、下級生は上級生の姿を手本として育っていくような学校を目指していきたいと思ひます。

(2) 家族の触れ合い

家族の触れ合いについて

- 父親が忙しくなかなか触れ合う時間がないので、学校行事を通じて時間がつくるようにしている。[低]
- 家族全員揃うときには、食事・遊びなどで一緒の時間を過ごすよう心がけている。[低]
- みんなと同じようにできないことも多いが、毎日学校でがんばっていることをほめている。[低]

- 親子の触れ合い、会話を心がけている。[中]
- 笑顔で、何でも言える環境づくりを大切にしている。[中]
- 休日は家族で過ごせる時間を欠かさないようにしている。[中]
- 親子共通のスポーツに取り組み、コミュニケーションを図っている。[中] [高]
- あいさつは毎日してくれるので、今後も互いにあいさつや言葉のやり取りを続けていきたい。[高]
- スポ少や習い事で自由時間が限られゲーム中心になることもあるが、兄弟2人で汗だくになり外で遊ぶ姿が見られる。[高]
- 母親に対して反抗的な態度をとることもあるが、祖父母や小さい子に対しては優しく接している。[高]
- ▲宿題や仕事に追われ、子供と触れ合う時間がほとんどない。気持ちに余裕をもつようにしたい。[低]
- ▲触れ合いの時間をもつよう努めているが、仕事が不規則なこともあり、できているか不安である。[低]
- ▲おこると物を投げたり、人をたたいたりする。[低]
- ★兄弟への優しさや家族への感謝の気持ちを育んでほしい。[低]
- ▲両親ともに帰り遅く、兄弟だけで過ごしていることも多いため、家族の触れ合いが少ない。[低]
- ▲帰りが遅いため、父親との触れ合いは土・日曜日しかできない。[中]
- ▲帰宅してから宿題、入浴、夕食が精一杯で、夜、家族の時間がもてない。[中]
- ▲兄弟げんかが多くて困っている。低学年の子供や小さい子との触れ合いの場を増やしてもらいたい。[中]
- ▲口調がきついため、もう少し穏やかに話してほしい。[中]
- ▲反抗期なのか、素直さがなくなったように思う。[中]
- ▲どうせおれなんかということが増えてきた。学校であったことを聞いても話してくれない。[高]
- ▲兄弟に対して厳しい口調になることがあり、子供の気持ちがコントロールできるよう見守っている。[高]

家庭での手伝いについて

- 米とぎや台所の拭き掃除など、手伝いをしてくれるようになり助かっている。[低]
- 弟や妹の世話をよく見てくれる。[中]
- 毎日、手伝いをしてくれるのでうれしい。[中]
- 料理の手伝いをよくしてくれる。[中]
- 少しずつ手伝いをしてくれるようになった。[高]
- ▲手伝いを自発的にするよう習慣付けたいが難しい。[低] [高]

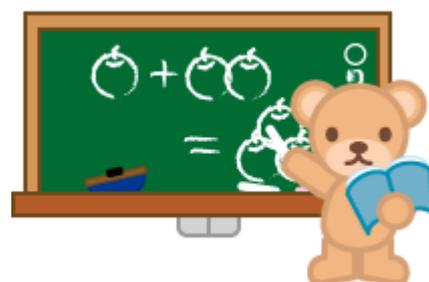


大人も子供も忙しく、家族で触れ合う時間が取れないという悩みが多く、多くの家庭に共通している様子が伺えました。そのような中でも、親子の会話や家族で過ごす時間を大切に、子供たちを大切に育てている保護者の皆様の思いが伝わってきました。子供の成長に応じて、対応の仕方について悩まれることも多いと思います。家庭と学校が連携し、子供たちの変化や気になる様子等を共有し合うことで、よりよい成長につなげていきたいと思っております。心配事や気になることがあれば、いつでもご連絡ください。

2 かしこく（分かる授業づくり・家庭学習の習慣付け）

(1) 分かる授業づくり

- 授業で学習内容をほとんど理解している。[低] [中]
- スタディメイトとの2人体制のこともあり、ありがたい。[低]
- 自分たちのころと比べて授業がとても分かりやすい。[低]
- 授業参観の際の授業の様子が分かりやすかった。[低] [中]
- 学習は難しくなっているがついていっているようなので、感謝している。[低]
- ICT 機器を活用しているのを学習参観で見て、子供たちの理解が深まっていると感じた。[中]
- よく分かる授業が行われている。[高]
- 自分自身で「勉強しないと」という気持ちが強く、がんばっている。[低]
- 漢字チャレンジなど、子供のやる気を引き出してくれており感謝している。子供も目標をもって取り組み、成果が上がってきている。[高]
- 漢字プリントの繰り返し練習の取組がよい。[高]
- 分かるまでしっかりと教えてもらえて、授業も楽しそうなのでよい。宿題も忘れずしており、やる気も出てきている。[高]
- 先生からの連絡や返却されたプリントから子供の様子を掴み、分からないところはなくすようがんばっている。[低]
- ▲算数では少しずつ理解できていないところがでてきているように感じる。[中]



- ★子供目線で優しく勉強を教えてほしい。宿題ももう少し減らしてほしい。[低]
- ★授業にまじめに取り組まない子に足を引っ張られ、全体の学習レベルが下がるようなことがあってはいけないと思う。[中]
- ★授業で分からないところがあったとき、分かりやすく教えてほしい。[中]
- ★間違うと恥ずかしいという思いがあるのか、授業参観でも手を挙げることがあまりないので、もっと自信をもってほしい。[中]
- ★算数にやや苦手意識があるが、プリントやドリルでの練習をがんばっている。夏休みには無理せず基本の復習をきちんとしたい。[中]
- ★できる子とできない子の差がはっきりしてきたように思う。できない子へのフォローは学校でどこまでできるのか。家庭では何ができるのか考える必要がある。そのままにはしておけない。[高]
- ★漢字テストと同様に計算問題も小テスト等があるとよい。[高]

「自分たちの頃と比べて授業が分かりやすい」「子供の学習意欲が上がっている」などのご意見に職員一同、元気ができました。一方では、「少しずつ理解できていないところがあるようだ」「子供目線で優しく教えてほしい」といったご意見もいただきました。今後も、学年の実態に合った学習環境や一人一人に応じた個別指導を取り入れた「どの子も分かる授業づくり」、基礎的・基本的内容の定着を目指す繰り返し学習等を通して、子供たちのやる気と自信を高めることができるよう指導の改善に努めたいと思います。

(2) 家庭学習の習慣付け

- 自学ノートや家庭学習がんばりカードで家庭学習が定着してきている。目標の時間、学習することが習慣付いている。[低]
- 毎日同じ量はできないが、少しずつ自学への意識は高まってきている。[低]
- 自学は大きなシールが励みになり、目標をもって取り組めるようになった。[低] [中]
- 算数、国語と教科が偏らないように自学に取り組んでいる。[低]
- 内容の偏りが見られたため、親が問題をつくるなどした。学習を通して会話ができている。[低]
- 自学ノート○ページ以上などと目標を数字で示すことにより、しっかりと取り組むようになった。[低]
- 自学ノートを自発的に行っている。問題も自分で考え、工夫してできている。[低]
- 勉強を楽しんでできるよう、ほめて伸ばしていきたい。[低]
- 平日はなかなか勉強を見てやる時間はないが、本人はがんばって自学に取り組んでいる。[低]
- 宿題、自学が終わるとテレビやゲームが長い時間になるため図書館へ行くなどしようと考えている。[低]
- 自学ノート7冊が目標になっており、宿題+自学ノートの習慣がついてとてもよい。[中]
- 学校から帰って宿題をしてから好きなことをするようになった。[中]
- 集中して勉強するようになった。[中]
- 自学にやる気を出して取り組んでおり、目標時間を過ぎても取り組んでいる。[中]
- 宿題や自学をしないとスポ少には行けないと分かっているため、すぐに取り組んでいる。[中]
- 以前に比べ宿題もきちんとやり、家庭でも積極的に学習しているので、継続してほしい。[中]
- 自学の取組はとてもよい。予習・復習や苦手な課題に取り組んでおり、自発的な力も付くのがよい。[中]
- 自学ノートがあることで自分から進んで勉強しどんどんノートを進めることでよい。[中]
- 家庭学習の習慣付けはできているので、今後は内容を充実させたい。[高]
- 少しずつ苦手な教科もできてきているが、自学ノートは工夫して勉強している。継続してほしい。[高]
- 自学の取組はとてもよい。自学ノートを継続してほしい。[高]
- がんばりカードがあることで自分の学習について把握する機会があつてよい。[高]
- 家庭では学習する姿はあまり見られないが、宿題だけはやっているので安心している。[高]
- ▲テレビを見ながら宿題をするのでなかなか終わらない。[低]
- ▲家庭学習のやり方に悩んでいる。苦手なことや時間のかかることを進んでしないため、いつもワンパターンな自学になってしまう。[低]
- ▲宿題を自主的になることはほとんどなく、いつも横について一緒にやっている。[低]
- ▲宿題のプリントなどは進んでやるが、自学は何をしたらよいのか親子で悩みながら取り組んでいる。[低]
- ▲平日は宿題に時間がかかり、遊んだりテレビを見たり、本を読んだりといったゆとりのある時間がほとんどもてない。集中して宿題を終わらせ遊んだり好きなことをしたりする時間をもたせてやりたい。[低]
- ▲遊びたいために与えられた宿題をただ終わらせるという感じで、じっくり考えたり、自学でもいろいろなことに挑戦したりしてほしい。[中]
- ▲スポ少の後、帰ってきてからの宿題は大変なので学童ですませてくるよう話しているがしてこないため、家での宿題が大変である。[中]



- ▲いつも夜に宿題をするので、帰ってきてからすぐできるようにしたい。[中]
- ▲宿題が多いことがあり、寝る時間をけずって勉強していることがある。[中]
- ▲算数が苦手で、苦手と思うと進まない。[中]
- ▲宿題はしているが親に言われてやっとやり始めている。[中]
- ▲平日の宿題にはすぐに取りかかれるが、休みの日の勉強がなかなかスタートできない。[中]
- ▲自学の内容が2年間ほど同じなので、自分で調べるなど、じっくりと取り組んでほしい。[中]
- ▲学習への取りかかりが遅い、集中力がない、後回しにするなど学習意欲の低下を感じる。[中]
- ▲自学でもっといろいろなことに取り組んでほしいが、すぐに終わってしまっている。[中]
- ▲勉強に取りかかるのが遅く、集中力もなくダラダラと宿題をしている。自分の好きなことを優先し、やりたくないことが残ってしまう。[中]
- ▲自分から宿題を始める日はスムーズにできるが、やる気のない日は集中できず進まないことにいらいらすることがあり、どのように対応すればよいか悩んでいる。[中]
- ▲宿題が多いため、6限まであり習い事のある日は大変である。消極的になることもある。[中]
- ▲やればいいと思っているところがあり、どうしたら楽しんで取り組むかを工夫している。[中]
- ▲毎日、宿題にはがんばって取り組んでいる。言われる前に自分から進んで取り組んでほしい。[中]
- ▲長い時間本を読んでいて宿題に取りかかろうとしないこともあるが、見守っている。[高]
- ▲楽しんで自学に取り組みせる工夫や関わりが難しい。[高]
- ▲宿題以上の学習に取り組む意識がなく、金曜日に宿題を終えると土・日曜日は全く何もしない。学校で宿題が終わったら自学に取り組むよう声がけをしてほしい。[低]
- ▲目標の学年×10分(50分)を長く感じている様子で、本や新聞を読んだりして過ごしている。[高]
- ▲目標時間の自学ができていない。[高]
- ★プリントミスにより宿題が前に進まないことがあるので確認してほしい。[低]
- ★家庭学習を少し負担に感じることもある。[低]
- ★上手にできているノート等を紹介してほしい。ノート展を1年生が見ているか少し疑問である。[低]
- ★宿題はこなしているが、 $+α$ は難しい。気長に身に付けさせたい。[低]
- ★自学で何をしようかを悩んでいる時間が長く、なかなか取りかかれないことが多いため、自学で迷ったときはこれ(漢字ドリル1ページなどのように)という最低限の約束のようなものがあると助かる。[中]
- ★目標時間に到達しないので、自学をしているが、何をするかいつも思案している。何とか自分でがんばってほしい。[高]
- ★家庭学習の大切さを伝えているが分からない様子がある。学校でも話してほしい。[高]
- ★自学に偏りがある。バランスよく、応用力を付ける内容にもチャレンジしてほしい。[高]
- ★テレビばかりでなく、読書する習慣を付けたい。[高]
- ★一人でできない問題のプリントなど、宿題がやや多い。[高]



家庭学習については、「大きなシールが励みになり、目標をもって取り組めるようになった」「自学ノートや家庭学習ががんばりカードで家庭学習が定着してきている」などのうれしいご意見が多くある一方で、「勉強に取りかかるのが遅く、集中力もなくダラダラと宿題をしている」などのご意見もありました。

学校では、「家庭学習＝宿題＋自学」で目当ての時間、取り組むよう呼びかけています。望ましい学習習慣定着のためには、テレビを消し集中して学習するなど、時間や量だけでなく内容面や学習への取り組み方を充実させることがポイントです。お子さんが自学の内容について迷っている場合には、担任にアドバイスを求めるよう、声をかけてください。

学校では、自学のよさを子供たちに伝えるとともに、継続して行っている「自学ノート展」を学級みんなで見ると、よい取組を広げるように努めていきます。

3 たくましく(心身の健康づくり・規則正しい生活リズム)

(1) 心身の健康づくり

- 休み時間や学童でのびのびと遊びながら体力づくりができています。毎日、くたくたになっているので早寝・早起きもできています。[低]
- 3015運動を続けることにより、体を動かすようになり怠けることが少なくなった。[低]
- 週に数回朝から体を動かす機会があったり、休み時間に体を動かして遊んだりしているようで、体力も付いてきた。[低]

- 帰宅後、宿題が全て終わると外で遊ぶことが多い。ゲームをすることもなく、自然との触れ合いを楽しんでいることが多い。[低]
- 晴れた日は虫を捕まえたり、草花を見たりして自然と触れ合い、家の外で遊んでいる。[中]
- 運動は苦手なので、学校での健康づくりの取組はとても助かる。[中]
- 体を動かすことが大好きで、危険なことや危害を加えそうになることも予知できるようになった。[中]
- 家の中で逆立ちをするなど、いろいろな運動に興味をもち始めている。[中]
- 休み時間にもよく遊んでいるようでよい。[高]
- 週2回のわんぱくタイムは、子供の体力向上にとってもよい。ぜひ続けてほしい。[高]
- 走ることが苦にならないようで、時間がたっぷりあるのに、学校まで走って登校することがある。[高]
- 運動に対して負けたくない気持ちがあり、がんばる気持ち強い。[中]
- 学校でたくさん体を動かしていると聞いている。体を動かすことが好きなタイプではないが、体を動かす環境にあることに感謝している。[中]
- スポ少や水泳教室への参加などにより心身ともにたくましくなってきた。[高]
- 元気に楽しく学校やスポ少で過ごしてほしい。メンタル面も強くなってきたと感じる。[高]
- ちびっこスポーツに行くようになり、運動への意欲が高まった。朝の活動にも体を動かす内容のものがあればよい。[低]
- ▲運動が好きでなく、寝る時間も遅くなりがちなのが課題と感じている。[低]
- ▲体力不足が心配。[中]
- ▲学童に行って体を動かすことがなくなったため、平日の運動量が減った。[中]
- ▲日常的な運動が不足しているので、休日に家族で自転車に乗って出かけるなど考えたい。[高]
- ★ラジオ体操の実施期間が地区によって違うのが少し気になる。[中]
- ★適度な運動を大切にしたい。[中]
- ★走るのが嫌いなためわんぱくタイムは苦手なようである。体を動かすことは嫌いでないので、もう少し楽しく取り組める、選択があるとよい。[中]
- ★水泳学習では、習っていない子や泳げない子のペースを理解して進めてほしい。[低]



低、中学年では、「体を動かすことが好きなタイプではないが、体を動かす環境にあることに感謝している」などのご意見から、業間のわんぱくタイム（グラウンド走、なわとび運動等）や「みんなでチャレンジ3015」が運動の習慣付けに効果があることが感じられ、うれしく思いました。「走るのが嫌いなためわんぱくタイムは苦手。もう少し楽しく取り組める、選択があるとよい」というご意見もありました。体育委員会が企画運営している「チャレンジランキング」をより多くの子供たちが参加するような楽しい活動にするなど、子供たちと一緒に工夫していきたいと思っております。

(2) 規則正しい生活リズム

- 早寝、早起き、朝ご飯を自分で意識して取り組んでいるのがよい。[低]
- 夜はどんなに遅くても9時前には眠ることを約束として、しっかり守れている。朝は起きられないことも多いため、目覚まして起きられるようにしたい。[低]
- 入学してから早寝・早起きができるようになり、よかった。[低]
- 朝は起きづらいときもあるが、9時には寝るように自分でがんばるようになった。[低]
- 毎日9時までには寝ている。体力づくりのため、スイミングと10分程度のジョギングをしている。[低]
- 時間を決めて日常生活を送るよう子どもと心がけている。以前は夕食後、ダラダラと時間を気にせず過ごしていたが、○時までには風呂に入る、布団に入るなどと決めている。[中]
- 休日も平日と変わらない時間に起きるようにしているため、生活リズムはしっかりとできている。[中]
- 規則正しい生活ができるようになってきた。[中]
- スポ少を始めてから、自分で時間を見て、ゲームの時間を調整できるようになってきた。[中]
- 早寝早起きの徹底は難しいが、平日はがんばっている。早寝・早起きをがんばっている。[低] [中]
- 規則正しい生活に気を付けている。[高]
- 休前日以外は9時から9時半までには就寝している。休日も早起きできている。[高]
- ▲寝る時間が遅いことや家で本を読むことが多く、外遊びをしないことが気になる。[中]
- ▲親につられて生活リズムが不規則になってしまうことがある。[低]
- ▲暑いせいか疲れやすく、朝起きられなくなっている。[中]
- ▲スポ少や習い事からの帰りが遅く、夕食を食べてすぐに寝てしまう日もある。規則正しくは難しいが、休息や食事のコントロールは親がしっかり見てやりたい。[中]

- ▲スポ少のため宿題をする時間が遅くなり、寝る時間が10時を過ぎてしまう。[中]
- ▲どうしても寝る時間が遅くなるが、一人で寝ないため仕方ないかなと思う。[中]
- ▲夜、寝る時間が遅く、朝は眠そうだが、言っても聞かない。[中]
- ▲寝る前に宿題をするので、寝るのが遅くなる。9時半までには寝てほしいが、10時から11時の間に寝ることが多い。[中]
- ▲夜遅くまで学習していることがある。時間の使い方がコントロールできていない。[高]
- ▲宿題に取りかかるのが遅い分、寝るのが遅くなっている。宿題に時間がかかり、寝るのが遅くなる。[高]
- ▲寝る時間が遅く、朝も遅刻が心配なのか6時前に起きることがある。授業中に眠くないか心配。[低]
- ★スポ少や塾などで帰りが遅くなる日が増え、睡眠不足になりがち。時間を大切に過ごすことや素早い行動ができるよう声かけをしたい。[高]
- ▲高学年になり、就寝時間が遅くなってきているのが気になる。家族で早寝・早起きに取り組みたい。[高]
- ★家庭では早寝早起きをがんばっているが難しい。学校で「〇〇週間」のようにしてくれると助かる。[低]
- ★習い事等で帰宅が遅くなると、夕食時間も不規則になり、決して生活リズムがよいとは言えないが、その中でも体調等をしっかり管理するようにしたい。[高]
- ★早寝早起きを習慣化し、規則正しい生活リズムを身に付けてほしい。[低 中 高]
- ★高学年になり、忙しくなってきたが、有効な時間の使い方を学んでほしい。[高]
- ★食べ物の好き嫌いがもう少しなくなるとよい。[高]

「時間を決めて日常生活を送るよう子供と心がけている」「規則正しい生活ができるようになってきた」というご意見がある一方で、「夜、寝る時間が遅く、朝は眠そうだが、言っても聞かない」といった悩みも多くありました。

成長期にある子供たちにとって十分な睡眠時間をとることはとても重要です。就寝時刻が遅いために睡眠不足で朝からあくびが出る、何事にもやる気が起きず姿勢も悪くなるなど、子供たちが望ましい生活を送るための支障となることもあります。習い事や勉強、スポーツ少年団の練習等で、寝る時刻が遅くなりがちなこともあると思います。ゲームやテレビ、インターネット等に費やす時間を減らし、生活時間を見直すことにより、就寝時刻を今よりほんの少しずつでも早くすることが、元気な学校生活につながります。お子さんとぜひ話し合ってみてください。

4 その他

- 学校だよりや学級だよりでタイムリーに活動を紹介されているので、会話のきっかけになっている。[低]
- 子供なりに目標を決めてがんばっている。学校でやる気スイッチを入れてもらい見えて楽しい。[低]
- 学習参観の「いのちの授業」で子供たちが大切そうに赤ちゃんを抱いている姿を見て、わが子の赤ちゃんの頃を思い出すとともに、改めて成長を感じた。[高]
- ホームページが更新されるのを毎回楽しみにしている。[高]
- 学校が好きというのが親にとって何よりと思っている。[低]
- 学校生活が楽しいようで、学校の話をよくしてくれる。[中]
- クラブ活動が始まり、楽しみにしている。[中]
- 学校での話をよくしてくれるようになった。[中]
- ▲自転車に乗れるようになり、行動範囲が広がったため心配である。[中]
- ▲友達の家でのマナーが心配である。[高]
- ▲学校でのことをあまり話してくれないため、仲のよい子がいるのか心配だ。[低]
- ★アルミ缶リサイクルの日を学校だよりや学年だよりで知らせてほしい。[高]
 - ご協力ありがとうございます。原則として、第2・4水曜日としています。その都度、学年だより等でお知らせします。
- ★夏場、冬場だけでも体操服で登下校させてほしい。靴下を黒・紺色でもOKにしてほしい。[低中]
 - 服装等については様々なご意見を聞かせていただければと考えます。
- ★相談箱を設置したらよい。先生に直接言いつらい、家や友達関係などの悩み事を書いて入れることができるようにするとよい。[中]
 - 保健室前に「ほかほかポスト」（相談箱）を設置しており、子供たちも利用しています。



保護者の皆様からいただいた貴重なご意見、思いや願い等を真摯に受け止め、全教職員で共有し、学校運営の改善に役立てていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

「ホームページの更新を楽しみにしている」とのご意見や「学校が好き」「学校生活が楽しいようだ」というご意見を読み、職員一同、元気が湧いてきました。第2回アンケートは、2学期末に行いますが、気になることやご意見等があれば、いつでもお気軽にお寄せください。